

平成30年8月30日

各位

(農林水産省事業)

食品ロス削減検討ワーキングチーム 日配品の商慣習に関する検討会について

食品ロス削減検討ワーキングチーム事務局
公益財団法人流通経済研究所

1 目的

主食であり、品目数も多く、かつ小売業・メーカーともに食品ロスの発生率が高い品目である「パン」を対象に、フードチェーンの廃棄を削減するため、オペレーションや製・販の情報共有のあり方等について、実行可能でよりよい方策を導くための検討・提言を行うことを目指す。

パンは、非常に消費期限が短く、かつ延長することが難しい商品であり、取り組みテーマとしてとても難しいテーマであるが、あえてそれに取り組むことで、食品ロス削減の間の題決を前進させたい。

2 開催方法

(1) 開催回数

年2～3回程度(1回あたり1時間半～2時間程度の予定)

(2) 検討の進め方

メーカーの工場において、どういった構造で、どの程度の廃棄が発生しており、いっぽう店舗ではどのくらい廃棄が出ているか実態を把握し、どこに、どのような、どの程度の問題があるかを製販で共有し、共通認識を構築したうえで、メーカー、小売のどちらか一方ではなく、フードチェーン全体での廃棄を削減するためのオペレーションや情報共有等のあり方について、実行可能でよりよい形を検討し、提言を行う。

(3) 検討会委員構成

実務家委員 敷島製パン(株)、フジパン(株)、山崎製パン(株)(生産、及び物流部門責任者)
イトーヨーカ堂、サミット(株)、(株)ファミリーマート、
コープデリ生活協同組合連合会(商品部責任者等)

専門家委員 専修大学商学部長 教授 渡辺達朗 先生、(一財)日本気象協会、日本電気(株)

オブザーバー (一社)日本パン工業会、日本チェーンストア協会、
(一社)日本スーパーマーケット協会、(一社)日本フランチャイズチェーン協会
日本生活協同組合連合会

官庁 農林水産省食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室
事務局 公益財団法人流通経済研究所

以上